



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかぜ

都立花畑学園

第5号

R5/7/20 発行

花畑学園の学校だより



変わりゆく夏の対策

主幹教諭 小宮山都美

7月中旬より一気に気温が上がり、関東地方では真夏日が続いています。また東北、中国・九州地方では、線状降水帯による大きな被害が出ました。被害に合われた地域の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。関東でも近年、ゲリラ豪雨など発生しています。備えあれば憂いなし。この機会に家庭での水害対策についても考えたいですね。

さて、授業参観週間には多くの保護者の皆様に来校いただき、ありがとうございました。花畑学園でも、中庭やプールなど、暑さ指数(WBGT)が基準値を超える日があり、児童・生徒の健康を第一に教育活動を工夫しております。授業参観時にも、予定しておりました授業を変更し、対応させていただいた学年もごさいます。御理解、御協力いただき、誠にありがとうございます。5月より感染症対策が新しい段階に入り、少しずつコロナ前の学校生活に戻りつつあります。花畑学園は開校と同時にコロナ禍であったため、一つ一つの行事を重ねながら、併置校としての学校行事を作り上げております。今後の学校行事は暑さ対策も一つのポイントとなっていきます。児童・生徒の安全な教育活動のため、御理解いただきますようお願いいたします。

明日から夏休みに入ります。一昔前の夏休みといえば、麦わら帽子をかぶり外で虫取りをしたり、海水浴を楽しんだりすることが定番でしたが、多くの地域では今は昔…となってきました。親世代には少々寂しく感じる風情ですが、今年の夏もしっかりと冷房の効いた室内で、熱中症対策を講じながら、楽しい夏休みをお過ごしください。

【肢体不自由教育部門 小学部より】

学年主任 有馬 真由美

8名の1年生は、入学当初から毎日元気な笑顔で登校しています。

初めてのスポーツフェスティバルでは、教室でボウリングのピンを前にポッチャのボールの大きさを選んで、投げ方・転がし方を教職員と一緒に工夫し、本番に臨みました。当日は普段の力を発揮し、落ち着いて参加することができました。また、プールの初日には全員が入水し、大好きな水の中ではしゃぐ様子が見られました。入学以来3か月余り、学校生活にも慣れ、様々な場面で自分のやりたいことが増え、大変意欲的です。学年8人の友達の他、スクールバスや他学年の上級生など、毎日たくさんの人たちとの触れ合いがあります。

これから大きく伸びていく学校生活の幕開けとして、順調な第一歩が踏み出せました。今後も御家庭の皆様と一緒に、子供たちの成長を見守り、支援していきたいと思えます。

【知的障害教育部門 小学部より】

学年主任 松村 そのみ

28人の大きな希望とたくさんのドキドキを抱えて入学した1年生！3ヶ月が過ぎ、学校生活にもなじんで笑顔が弾ける毎日です。

初めてのスポーツフェスティバルでは、御家族に見守られ、立派に走り切ることができました。御家族の姿を見て泣いてしまうこともありましたが、最後まで頑張り、学校行事で貴重な経験をまた一つ積み重ねることができました。

また、初めてのプールは、水着の入ったプールバックをもって登校することがうれしくて、朝からそわそわ期待感でいっぱいでした。水慣れでは、魚の模型をつかんだり、歩いたり浮いたり水の中の感覚を楽しみました。

朝顔の種まきや水やりでも、意欲的な1年生。これからはたくさんの初めてのチャレンジし、のびのびぐんぐん大きくなって欲しいです。教員一丸となって支援していきます！